

水彩画教室「春の雪景色」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka

3月下旬 浅間高原は一部を除いて雪が完全に消え 本格的な春を待つばかりになっていました ところが今週の低気圧と寒気で大雪になり 4月というのに完全に雪景色になってしまいました しかし毎年4月の浅間高原は 雪は消えてしまい かとって新緑や桜にはまだ遠く 面白くない季節でした むしろこのほうが素晴らしいかも知れません



これが完成した絵です



1、白樺の細い枝は 細く描くことも大切ですが 薄い色で描くことも併用します



2、白樺の幹は 片側(絵では右側)に影をつけて その後樹皮の模様を描きます



3、浅間の白煙は 白のパステルで少しだけ描いておきます



4、雪をかぶった牧場の建物 ギャンブルル屋根(二段の傾斜の屋根)を立体的に描きます



5、背後の森も 基本的に青一色で描きます やや濃淡をつけると 奥行きが出ます



6、手前の枯草で「遠い春」を表現したいと思いました